

# 学校だより 9月号



## 夏休み明けに思うこと

校長 柴田 雅之

夏休みが明けて1週間、毎日校内を見て歩きました。どの学年も、落ち着いた様子で学校生活を再スタートしています。安心しました。夏休み中は、旅行先で、また、家庭で様々な思い出を作りつつ、エネルギーの充電ができたことが窺えます。宿題や自由研究などへのご対応ありがとうございます。事故等の心配な連絡がなかったことが何よりです。

自由研究を見て思ったことがあります。戦争に関する内容がほとんどなかったということです。毎年8月は広島・長崎の原爆の日、終戦記念日があり、それにまつわるニュースや番組を目にします。とくに今年は戦後80年の節目の年ということもあり、例年より報道が多かったように思います。戦争が遠く過去のものになっていきつつも、その悲惨さを知ることは大切なことだと思います。きっと今の子どもたちも戦争があったという事実に触れる機会はあるとは思いますが。自由研究では扱わなくても、平和の大切さを感じる機会があると思います。今の生活の背景にある歴史にも目を向けていってほしいなと思いました。

初日の朝会では、下記の3つの話をしました。保護者の方とも共有したいのでお伝えします。

「今朝、久しぶりに皆さんの顔を見ることができてとても嬉しかったです。今日からまた学校が始まりましたが、これからの生活について三つお話をします。

1つ目です。まだ暑い日が続きますが、しっかり食べて、よく寝て、元気に健康でいられるようにしましょう。夏休みの生活がずれていて、朝ごはんを食べられないとか夜遅くまで起きていて朝起きられないとかいう人はいませんか。朝、皆さんと挨拶をしていると、元気がどうかはなんとなく伝わってきます。元気に挨拶できる子は安心します。うつむいて元気がない感じの子は心配です。心も体も健康でいてほしいです。

2つ目です。学校では、仲良く楽しく過ごしましょう。意地悪や悪口、いじめは絶対にいけません。

3つ目です。困ったことや悩みがあったら相談しましょう。もちろん自分で、または自分たちで解決することも大切ですが、一人で抱え込んでしまうのはよくありません。千代ヶ丘小学校には、友達や先生たちが500人以上います。お家の人や千代ヶ丘のまちの人も含めれば1000人、2000人になります。みんなで支え合っていきましょう。勉強や休み時間、給食など、皆さんは安心して楽しい学校生活を送っていきましょう」

学校では、子どもたちの健康、安心、安全を大切にしながら今後も充実した教育活動を続けていきます。4月に行った学習状況調査の結果からは、学習に前向きな子が多いということや住んでいる町が好きと答えた子が多いこと。また、朝自分で起きられない子や朝食を食べてこない子がいる程度いることなどがわかりました。前期の終わりに個人面談があるので、学年や児童一人一人についてのよさや課題についてお話させていただきます。学校と家庭で情報を共有して、子どもたちを育てていきたいと思っています。

今年度は、夏休み明けに水泳学習を行います。多くの保護者の方にボランティアとしてご協力いただきますことに大変感謝しております。どうぞよろしく願いいたします。